

北 ^{く に} 地域づくり・未来づくり ^{ゆ め}

Monthly Hokkaido Magazine

月刊
イズム

ISM

国産小麦需要どう伸ばす
国策に翻弄された開拓者



シリーズ表現者たち 林雅治さん・幸子さん
(18ページをご覧ください)

再生産につながる適正価格を

対談

道産ワインを変革した「山幸」

池田町町長 北大教授
安井美裕さん×曾根輝雄さん

keep A協議会、発足から1年

4

2024
April
定価570円

羊とともに生命を紡ぐ

自由な陶芸を北海道で

F A F 工房
フロンティア・アート・ファーム

林雅治さん・幸子さん



用しているほか、裏手にある羊小屋では5種類45頭の羊を飼っている。

京都・清水焼の陶芸家一家に8人兄弟の末っ子として生まれた雅治さんは、父・林沐雨、兄・林康夫のもとで陶芸を学び、京都府立専修陶工訓練校を卒業した後、備前焼作家で後の人間国宝・伊勢崎淳氏に師事。その後、東京のF R P工場、鉄工所など様々な職業を経験した。

『何でも見てやろう』（注：小田実の著書）の精神です。ただ、すべては陶芸につながると思っていました」

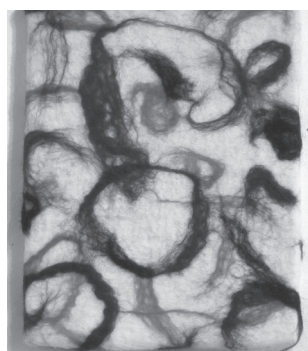
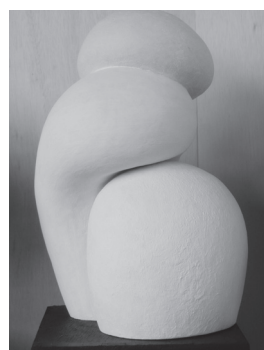
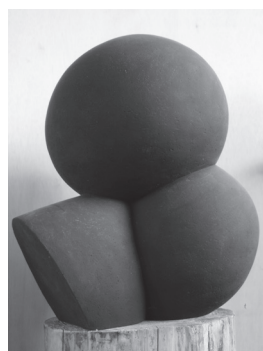
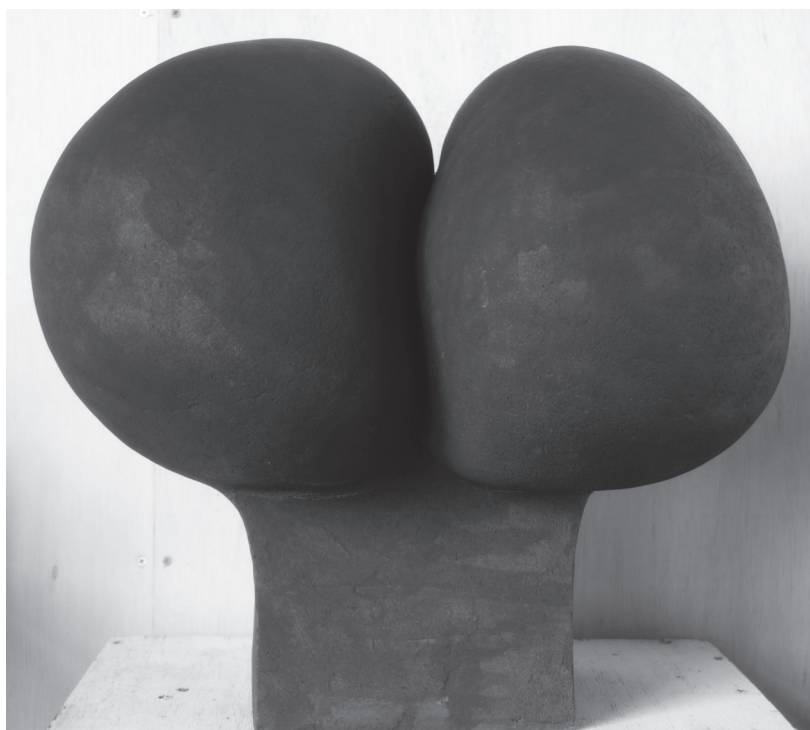
1975年兵庫県丹波篠山市に住居を得て築窯。翌年、京

都府立陶工高等技術専門校図案科を卒業し林沐雨に弟子入りした幸子さんと知り合い結婚。ただ、窯を開いてからも陶芸に専念することができず、住宅購入資金の返済や生活のためトラック運転手をしていが、その合間に作陶に取り組み、1982年には東京で初の個展を開催。1989年にF A F工房を設立した。

雅治さんは中学生のとき大病を患い、1年間の入院、闘病生活を送った。中学卒業後、地元・京都の定時制高校に入学。1年の1学期が終わるころ京都大学医学部でケアティカー（実験動物の育成）の仕事に就いた。北大出身の医師から北

海道の話聞き、漠然とした憧れを抱いたのはそのときのことだ。3年生になって北海道への移住を志し、札幌市内の高校への編入を試みた。だが、大病により痩せ細った雅治さんを見た教頭が「その身体では北海道では暮らせない」と編入を拒否。一念発起した雅治さんは、恵庭の牧場フロンティア・ファームで牧童として働き始めた。結局、道内の高校への編入はかなわず、京都の定時制高校に戻ったが、このときの北海道体験が後の俱知安移住につながったという。「フロンティア・アート・ファーム」の名前にはこの牧場へのリスペクトが込

林雅治さん・幸子さん夫妻が俱知安町の旧寒別小中学校の木造校舎に工房を構えたのは1990年のこと。体育館は体験教室会場と幸子さんの工房、教室が雅治さんの工房、校長室をギャラリーとして利



められている。

「北海道は、しがらみもなく自由な創作に取り組むことができる場所です」

と雅治さんは話す。自らの作品については、

「現在、林雅治名義の作品は造形、オブジェだけ。器などはFAF工房として造っています。作品のテーマは動物と人間の生命。これまで関わってきた動物たちや京都大学医学部で働いていたときに見た人体標本などに影響されています。また、造形については彫刻家の堀内正和先生の影響を強く受けています」と語る。

幸子さんはこの間、5人の子どもを育てながら陶芸に関わっていたが、「本格的に取り組み始めたのは北海道に来ってから」という。「もともとは絵描き」という幸子さんは、雅治さんが作陶した器に絵付けをする。唐草や羊蹄山麓の草花、中でもカヤツリグサをモチーフにした作品が多い。

もう一つ幸子さんが取り組んでいるのが羊毛を使ったフ

エルトアートだ。「最初はグラウンドの草刈り役」として飼いはじめたが、知人から糸紬の道具を譲り受けたのがきっかけで、毛糸やニット製品の製作に取り組み始めた。

「品種により羊毛の色が異なるので、違う色の品種を掛け合わせてみたり、草木染めで色を付けています。まず材料があつてのことなので、まったくの我流です。それで却って面白いものができているのかもしれない」

なお、FAF工房では、絵付け体験や手びねり体験、羊毛加工体験を有料で受け付けている。また、林雅治さん・幸子さんの作品は、同工房ギャラリーのほか、7組の工房によるギャラリー「かたち」（倶知安町ニセコひらふ1条4丁目5-47-2）で展示販売している。

●FAF工房

倶知安町寒別103番地

TEL 0136-233949

URL <https://faforou.wixsite.com/faforou>

MAIL faforou@gmail.com

大学農学酪農 研究室探訪

vol.42

アレルギーの謎に迫る



ギー、抗がん免疫におけるIGEの役割についての研究だ。スギ花粉症において血液成分の一つである血小板の役割を解明しようとしている。

中村講師は、東京大学大学院在籍中の研究で脂質から作

られる生理活性物質（脂質メデイエーター）の一つがアレルギー性鼻炎を悪化させることを発見していた。その脂質

メディエーターを大量に産生する候補のひとつに血小板があった。

酪農学園大に赴任するに当たり、免疫システムにおける血小板の役割に焦点を当て、

「血小板がアレルギー症状を悪化させる」という仮説を立てた。

アレルギー性鼻炎と同じ呼吸器疾患である喘息では、血小板が症状を悪化させるとい

役割を果たしている可能性がある。

「アレルギー性鼻炎でも血小板が免疫細胞のガイド役を果たすことで免疫細胞が鼻の粘膜に集まる手助けをしている」というストーリーが考えられます。アレルギー性鼻炎に特有のガイドの仕方を解明できれば新規治療法や創薬に結びつくかもしれません」（中村講師）

シラカバ花粉症では、発症後、果物アレルギーを起こしやすい。

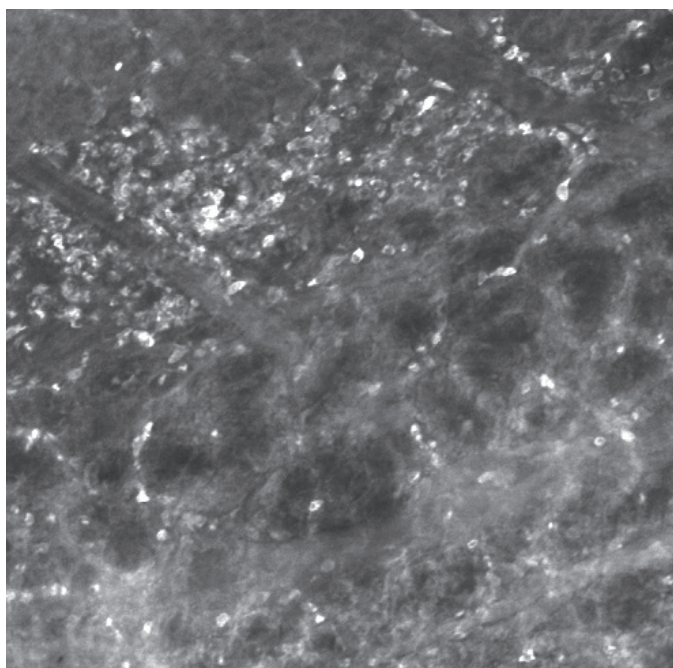
シラカバ花粉の構造とリンゴやモモに含まれるアレルギー原因物質の形が似ているため、身体がシラカバ花粉と勘違いしてアレルギー反応を示すと言われている。

多くの場合、その症状は軽いですが、稀に重症化するケースがあり、アナフィラキシーと

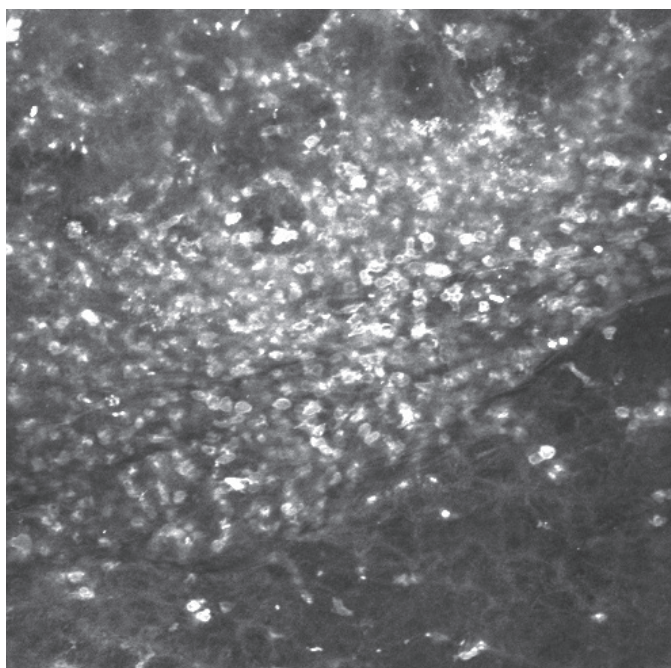
アレルギー性疾患は年々増加している。中でもアレルギー性鼻結膜炎（花粉症）は患者数が多く、QOLの低下やそれに伴う経済損失が大きく、その解決が社会的に重要な課題となっている。獣医学群獣医学類獣医薬理学ユニットの中村達朗講師は、「そもそもなぜ私たちの身体にはアレルギー反応を起こすシステムが備わっているのか、実は未だにわかっていません。その謎に一步でも迫ることを目指して研究を行っています」と語る。

アレルギー反応の機序は、身体内に原因物質（アレルゲン）が入って来ると、それに対応する抗体が作られ、抗体と原因物質が免疫細胞を活性化し、免疫細胞が活性化して炎症を引き起こす、というステップを踏む。だが、それぞれのステップと次のステップの間のメカニズムには未解明な部分が多い。

中村達朗講師が今取り組んでいるのは、スギ花粉症、シラカバ花粉症続発性果物アレルギー



血小板のないマウスの鼻粘膜
好酸球とT細胞が少ない



花粉症マウスの鼻粘膜
好酸球とT細胞が密集している

呼ばれる全身症状が現れて重篤化する。

「症状が軽いケースと重症化するケースの違いがよくわかっていません。そのメカニズムを解明したい」

一方、以前から花粉症や喘息などアレルギーを持つヒトのがん死亡率が低いという統計が知られている。

体内に侵入してきた異物を排除する免疫システムでは、それぞれの異物に対応する抗体が作られる。抗体にはIgG、IgM、IgA、IgD、IgEの5つのタイプがあり、アレルギー反応では、多様なアレルゲンのそれぞれに特異的に対応するIgEが作られる。

最近、がん細胞に対しても特異的なIgEが作られ、しかもがん細胞を殺す力がかなり強いことが判ってきた。そのため、「アレルギーに罹った人は体内にIgEを持つからがん死亡率が低くなる」と説明されるようになった。

だが、中村講師は「そこにはまだ判っていないことがあ

る」という。

アレルギー患者はIgE抗体が高いが、このIgEはがん細胞に取り付くことはないと考えられる。アレルゲンに特異的なIgEであり、がん細胞に取り付くIgEとはまったく別物だからだ。考えられるのは、「アレルギー患者の身体はがん細胞に対するIgEが作られやすい状態になっている」ということ。そのメカニズム解明も中村講師の研究テーマの一つだ。

「私たちの身体になぜアレルギー反応というシステムが備わっているのか。私が根本的に知りたいテーマです。花粉症の研究も抗がん免疫の研究も最終的な目標はそこにあります」

と中村講師は語っている。2023年度の中村ゼミのゼミ生は4年生2人、5年生2人。2024年度から新4年生3人が加わり7人体制となる。発足して2年目なのでまだ卒業生はいない。

(堀武雄)



〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地
入試広報センター 入試広報課直通
TEL: 011-388-4158 FAX: 011-388-4157 MAIL: koho@rakuno.ac.jp
<https://nyushi.rakuno.ac.jp/>
フリーダイヤル 0120-771-663

受験生サイト



農食環境
学群



循環農学類
食と健康学類
環境共生学類



獣医学群



獣医学類
獣医保健看護学類



製粉業者は輸入小麦を重宝

国産小麦需要どう伸ばす

… 4

満蒙開拓団二世・余湖智の「遠い過去に想いを馳せて」

国策に翻弄された開拓者たち

… 8

異見録
ISM流

■ 反戦運動は何処へ行った 沈黙はロシアを利するだけ

■ 「外地・北海道」を逆手に取れ 第3開拓時代の創出を

■ 物事の分別もできないのか！ 自民党は解党せよ

■ 政治倫理を審査しない政倫審 金澤弘毅＝投稿

… 13

未来づくり
表現者たち

羊とともに生命を紡ぐ FAF工房 林 雅治 さん・幸子 さん

自由な陶芸を北海道で

… 18

遅すぎ少なすぎ
の少子化対策

地方は人口の奪い合い

… 20

全国の先駆けとなる食料安保の取り組みを

… 24

keepA協議会、発足から1年

再生産につながる適正価格を

… 26

道産ワイン対談

北海道のワインの可能性を変革した池田町と「山幸」

… 28

〈対談出席者〉池田町町長 安井 美裕 さん 北海道大学大学院農学研究院 教授 曾根 輝雄 さん

ザ・シンポジウムみなとin石狩湾新港 〈パネルディスカッション〉

石狩湾新港の可能性と未来を語る

… 32

酪農学園大学研究室探訪 ―vol.42 獣医学群獣医学類獣医薬理学ユニット 中村 達朗 講師

アレルギーの謎に迫る

… 36

～この町こどのはじまり～ 確執と震災を乗り越える安平町

… 38

経済・情報
ニュースクリップ

●札幌市のさぽーとほっと基金に100万円寄付 14年連続-セコマ

●国産プレミアムウイスキーにホログラムシール 商品ブランド守る-サントリー

●茅乃舎「だしスープ」シリーズより『中華風だしスープ』新発売!-久原本家

… 41